

## とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都豊島区駒込 2-2-3
園名	駒込第三保育園
法人	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

令和7年5月23日 対象：4歳児

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

・【自然】

<テーマの設定理由>

・都心にありながら広い園庭があり、日々の遊びの中で、植物や昆虫等に関わる姿が多く見られる。遊びの中で日々何気なく触れている【自然】をテーマにし、再度子ども達に自然とは何か？を問いかけ再考し、普段見ている視点を変え、機器を用いて拡大してみることなどでなぜそのような形になったか？等自然への興味・関心をさらに深めて、発見を楽しめるようにしていきたい。

### 2. 活動スケジュール

5月⇒園庭畑にある梅の木に実っている梅の観察。

6月上旬⇒6月11日の給食（梅ご飯）を食べたり、カリカリ梅や梅干しの観察、試食を通して食感や味を知る。

6月下旬⇒梅シロップ作り開始。日々の変化を観察し記録する。

7月⇒梅シロップ完成後、試飲会

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・園庭の梅に気付けるよう保育で畑に夏野菜を植える。
- ・カリカリ梅（種抜き）、梅干し
- ・梅シロップ…漬ける瓶6つ、梅3種（青梅・完熟梅・露茜）  
砂糖4種（和三盆・花見糖、黒砂糖、てんさい糖）

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・畑作りを始める所から耕す前の畑に梅が落ちていることに気付く（梅との出会い）
- ・実際に触ったりにおいをかいたりと思ひ思いに観察を楽しむ。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・「梅って固い」
- ・「(梅干しの梅は)やわらかくて赤いよね」
- ・「味はすっぱいよね」
- ・「でも甘い味の方が好き」
- ・「甘い味ってなんだろう？（保育士の問いかけに）」→「胡椒」「しお」「さとう！」



#### 5. 振り返り<振り返りによって得た保育士の気づき>

・畑に落ちていた梅の実に気付いて各々で拾い上げて梅の観察を楽しんでいた。保育士の問いかけにも意欲的に応えていて、問いかけ以外の各々の気づきを口々に伝える姿が見られた。梅も一人一個手にして観察できたことで興味も広がり、観察意欲にもつながった。実物に触れ観察したことで、梅への関心が拡がり今後の梅シロップ作りに期待を持つ様子がうかがえた。

## とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都豊島区駒込 2-2-3
園名	駒込第三保育園
法人	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

令和6年6月19日 対象：4歳児

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

・【自然】

<テーマの設定理由>

・都心にありながら広い園庭があり、日々の遊びの中で、植物や昆虫等に関わる姿が多く見られる。遊びの中で日々何気なく触れている【自然】をテーマにし、再度子ども達に自然とは何か？を問いかけ再考し、普段見ている視点を変え、機器を用いて拡大してみることでなぜそのような形になったか？等自然への興味・関心をさらに深めて、発見を楽しめるようにしていきたい。

### 2. 活動スケジュール

5月⇒園庭畑にある梅の木に実っている梅の観察。

6月上旬⇒6月11日の給食（梅ご飯）を食べたり、カリカリ梅や梅干しの観察、試食を通して食感や味を知る。

6月下旬⇒梅シロップ作り開始。日々の変化を観察し記録する。

7月⇒梅シロップ完成後、試飲会

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・園庭の梅に気付けるよう保育で畑に夏野菜を植える。
- ・カリカリ梅（種抜き）、梅干し
- ・梅シロップ…漬ける瓶6つ、梅3種（青梅・完熟梅・露茜）  
砂糖4種（和三盆・花見糖、黒砂糖、てんさい糖）

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・青梅と完熟梅の観察(色、形、香り)
- ・梅干し、カリカリ梅2種の食べ比べ

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

###### ～完熟梅の観察～

- ・「もものにおいがする」「ぶどうのかおりがする」「マンゴーだよ」
- ・「(完熟梅の方が)やわらかい」「桃みたいな形」

###### ～梅干し～

- ・「やわらかい」「ふわふわしてる」
- ・「ケチャップ(トマト)のにおい」「嫌なにおい」

###### ～カリカリ梅～

- ・「固い」「ポリポリする」
- ・「シソのにおいがする」実際にシソのにおいと比べる「なんか違うけどシソのにおい」
- ・「甘い」「すっぱい」



#### 5. 振り返り<振り返りによって得た保育士の気づき>

青梅と完熟梅の観察にとっても興味を持っていた。硬さや色の違いに気付くことは予想していたが、早いうちから匂いをかぎ、香りに興味を持ち、かすかに桃の香りがした事に気付いた子どもたちの観察欲に感心した。味も素直な表現で自由に発言しながら試食を楽しんでいて、五感を通じて観察できる経験は大切と感じた。来週はいよいよ梅シロップ作りが始まるので保育士も問いかけと一緒に観察する事で子ども達の観察意欲を高めていきたい。

## とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都豊島区駒込 2-2-3
園名	駒込第三保育園
法人	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

令和7年6月24日～7月1日 対象：4歳児

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

・【自然】

<テーマの設定理由>

・都心にありながら広い園庭があり、日々の遊びの中で、植物や昆虫等に関わる姿が多く見られる。遊びの中で日々何気なく触れている【自然】をテーマにし、再度子ども達に自然とは何か？を問いかけ再考し、普段見ている視点を変え、機器を用いて拡大してみることでなぜそのような形になったか？等自然への興味・関心をさらに深めて、発見を楽しめるようにしていきたい。

### 2. 活動スケジュール

5月⇒園庭畑にある梅の木に実っている梅の観察。

6月上旬⇒6月11日の給食（梅ご飯）を食べたり、カリカリ梅や梅干しの観察、試食を通して食感や味を知る。

6月下旬⇒梅シロップ作り開始。日々の変化を観察し記録する。

7月⇒梅シロップ完成後、試飲会

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・園庭の梅に気付けるよう保育で畑に夏野菜を植える。
- ・カリカリ梅（種抜き）、梅干し
- ・梅シロップ…漬ける瓶6つ、梅3種（青梅・完熟梅・露茜）  
砂糖4種（和三盆・花見糖、黒砂糖、てんさい糖）

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

・6月24日～7月1日の間、毎朝梅シロップの瓶を観察して瓶を振り砂糖を溶かしていく。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

###### ○青梅×花見糖

「トマトみたいになってきた」「ぽによぽによになってる」

「ちょっと白かったのに、赤くなってきてる」「こくなってる」

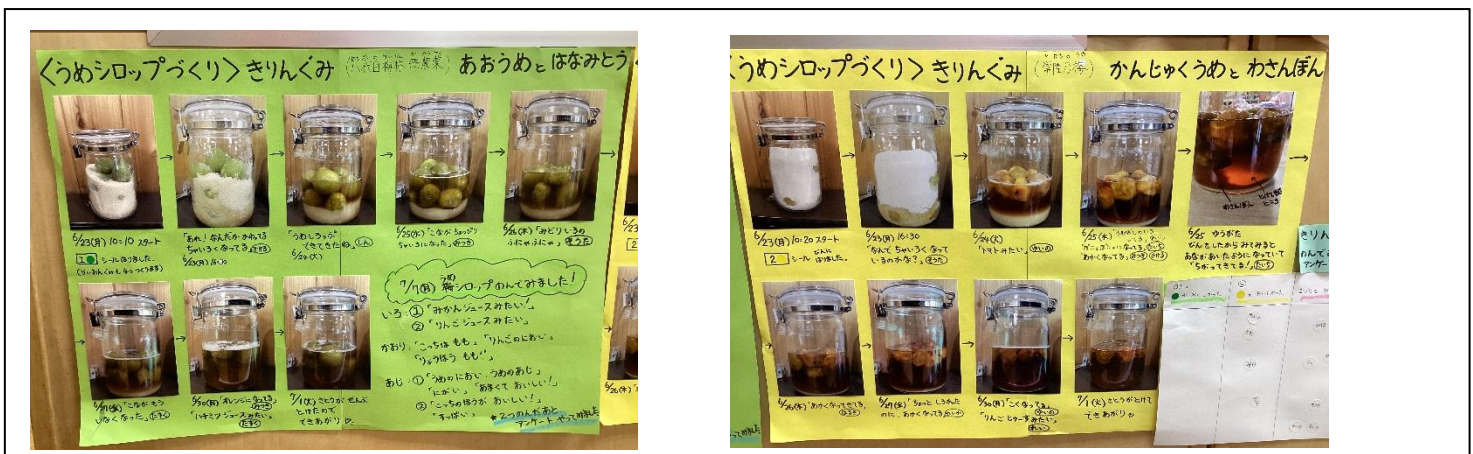
「りんごジュースみたい」

###### ○完熟梅×和三盆

「なんだか変わってる、茶色くなってる」「みどりいろにふにゃふにゃ」

「粉(砂糖)がもういなくなった」「オレンジになってる」

「ハチミツジュースみたい」



#### 5. 振り返り<振り返りによって得た保育士の気づき>

子ども達は日々観察することを楽しみにしており、登園するなり「梅が見たい!」と観察する姿が見られた。感じた事を互いに伝えあい、保育士にも伝えに来る姿があった。また、毎日瓶を振るうちに持ち方等も工夫する姿があった。子ども達は各々で感じた事を素直に話すので、ぽによぽによ、ふにゃふにゃ等、各々が様々な表現で梅の形を伝える姿が面白くとても可愛らしく感じた。梅シロップが出来てくると「パーティーが楽しみだね」と話し合う姿が見られたので、試飲会の日程を前もって子ども達にも伝えていき次回の活動へさらに期待が持てるようにしていく。

## とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都豊島区駒込 2-2-3
園名	駒込第三保育園
法人	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

令和7年6月27日 対象：4歳児

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

・【自然】

<テーマの設定理由>

・都心にありながら広い園庭があり、日々の遊びの中で、植物や昆虫等に関わる姿が多く見られる。遊びの中で日々何気なく触れている【自然】をテーマにし、再度子ども達に自然とは何か？を問いかけ再考し、普段見ている視点を変え、機器を用いて拡大してみることでなぜそのような形になったか？等自然への興味・関心をさらに深めて、発見を楽しめるようにしていきたい。

### 2. 活動スケジュール

5月⇒園庭畑にある梅の木に実っている梅の観察。

6月上旬⇒6月11日の給食（梅ご飯）を食べたり、カリカリ梅や梅干しの観察、試食を通して食感や味を知る。

6月下旬⇒梅シロップ作り開始。日々の変化を観察し記録する。

7月⇒梅シロップ完成後、試飲会

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・園庭の梅に気付けるよう保育で畑に夏野菜を植える。
- ・カリカリ梅（種抜き）、梅干し
- ・梅シロップ…漬ける瓶6つ、梅3種（青梅・完熟梅・露茜）  
砂糖4種（和三盆・花見糖、黒砂糖、てんさい糖）

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・梅シロップ作り

男児：青梅×花見糖、露茜×てんさい糖 女児：完熟梅×和三盆、青梅×黒砂糖  
ビンに梅、砂糖を子どもが入れていく。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・和三盆の入っている袋を触って「なんか固いね」
- ・花見糖の入っている袋を触って「こっちは柔らかい」
- ・和三盆の細かい砂糖が梅にびっしりついている様子を見て「白くなったよ」
- ・和三盆、花見糖をマイクロスコープで見してみる 花見糖：「四角くてキラキラしてる」  
和三盆：「(粒子が細かくて)ちいさいね」
- ・砂糖漬けにして時間がかかってきて変化に気付いた子ども達  
「なんだか茶色くなってかわってる」 「なんだ茶色くなったのかな」  
「(完熟梅の)きいろがみどりになってる」



#### 5. 振り返り<振り返りによって得た保育士の気づき>

梅シロップ作りは園庭の梅の観察から始まり、完熟梅の観察・カリカリ梅の試食等過程を経た事で、子ども達は梅シロップ作りに興味・期待感持ち参加していた。自分でトングを使って梅を取り砂糖を入れたり、1人ずつビンを振れたことも特別感を感じる事が出来たと思う。子ども達は日々の細かい変化にもすぐに気付いており、興味深く観察している姿が印象的だった。

## とうきょう すくわくプログラム実践報告書

所在	東京都豊島区駒込 2-2-3
園名	駒込第三保育園
法人	社会福祉法人 豊島区社会福祉事業団

令和7年7月7日対象：4歳児

### 1. 活動のテーマ

<テーマ>

・【自然】

<テーマの設定理由>

・都心にありながら広い園庭があり、日々の遊びの中で、植物や昆虫等に関わる姿が多く見られる。遊びの中で日々何気なく触れている【自然】をテーマにし、再度子ども達に自然とは何か？を問いかけ再考し、普段見ている視点を変え、機器を用いて拡大してみることでなぜそのような形になったか？等自然への興味・関心をさらに深めて、発見を楽しめるようにしていきたい。

### 2. 活動スケジュール

5月⇒園庭畑にある梅の木に実っている梅の観察。

6月上旬⇒6月11日の給食（梅ご飯）を食べたり、カリカリ梅や梅干しの観察、試食を通して食感や味を知る。

6月下旬⇒梅シロップ作り開始。日々の変化を観察し記録する。

7月⇒梅シロップ完成後、試飲会

### 3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

- ・園庭の梅に気付けるよう保育で畑に夏野菜を植える。
- ・カリカリ梅（種抜き）、梅干し
- ・梅シロップ…漬ける瓶6つ、梅3種（青梅・完熟梅・露茜）  
砂糖4種（和三盆・花見糖、黒砂糖、てんさい糖）

#### 4. 探究活動の実践

##### <活動の内容>

- ・出来上がった梅シロップを使って“梅シロップジュース”を作り、皆で飲んでみる。
- ・完成した梅シロップジュースを飲み比べてどれが好きかを各々判定する。

##### <活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

###### ○青梅×花見糖

「もものにおいがするよ」「りんごのにおいがする」

「すっぱい」「こっちのほうがおいしい」

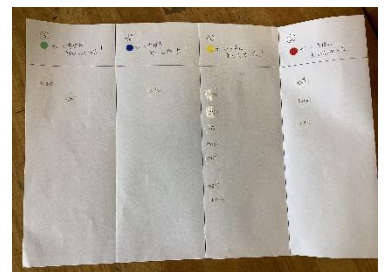
###### ○完熟梅×和三盆

「どっちもおなじにおい(もも)」「うめのにおいにうめのあじがする」

「ちょっとにがかった」「だいぎらい」「こっちのほうがもものにおいがする」

###### ○青梅を食べてみて

「あまい」「にがい」



#### 5. 振り返り<振り返りによって得た保育士の気づき>

子ども達の楽しみにしていた梅シロップジュースの試飲会を行った。準備の段階から興味を持ち、保育士の姿を眺めていたり、待ちきれずシロップを注いだコップをのぞき込み、匂いをかごうとする姿があった。飲む前に皆で香りを楽しむも、見た目の色で「りんごのにおいがする」と答えていたり、大人でもかすかに感じた“もものにおい”を感じる子どももいて驚いた。どちらが美味しかったかというアンケートでは上品な味と風味の完熟梅×和三盆が圧倒的人気な事にも驚いた。今回子ども達に身近な“自然と食”をテーマにしたのも良かったと感じる。

5月に梅の観察から始まり、味を感じ、梅シロップを自分達で漬けて毎日観察する事で愛着が湧いてきたように感じる。苦手と感じても飲んでみたり、微妙な味の変化に気付いたり、継続した保育がどれだけ子どもの興味・関心を引き出せるかということに改めて感じた。